

厚生労働科学研究(がん臨床研究)推進事業について

厚生労働省が所管する「厚生労働科学研究(がん臨床研究)推進事業」では、毎年度、がん医療に携わる全国の研究者から研究課題の募集を行っています。平成23年度に採択された課題は計81件ののぼります。がん専門病院や大学などに所属する研究代表者81人のもとに研究分担者を置き、全国の約900人の研究者が、がんの治療や患者・家族のケアをめぐる様々な研究を進めています。

本事業の中には

- ①研究成果等普及啓発
- ②がん医療水準均てん化推進

の二つの事業があります。

①の目的は、課題が採択された研究者が国の補助金で行った研究成果を、医学的専門知識がない一般の人たちにわかりやすく伝え、この分野への関心を深めてもらうことです。本冊子も①の目的に沿って、多くの人に「大腸がん」というものへの理解を深め、活用していただくために作りました。

②は、課題が採択された研究者が、同じ分野の研究者や医療従事者向けに開く研修会や、日本対がん協会が年1回開催するがん臨床研究成果発表会(研究者向け)などを通して研究成果を広め、がん医療水準の地域間格差をなくしていくこと(均てん化)を目指しています。

日本対がん協会のホームページ(<http://www.jcancer.jp/>)で事業内容について紹介しています。